

愛知県美浜町農業委員会（上野間地区で担い手の農地集約化を実施）【令和4年度】

【農業委員会の体制】（令和5年5月19日任期開始 新制度移行後2期目）

農業委員11名、農地利用最適化推進委員12名、事務局職員4名

1 地区の特徴・状況、課題

○美浜町は知多半島南部に位置し、耕地面積は1,190ha(水田540ha、畑650ha)があり、水田作の担い手は各地区におり、農地の集積は進展しつつあるが、集約化には至っていない。また、各地区で用水路の老朽化が問題となっている。

2 課題解決に向けた活動（取組と工夫）

○人・農地プランの話し合いの際に上野間地区の担い手農家より、機構集積協力を活用した農地の集約を実施したいという意向があった。上野間地区(水田40ha)を対象に、担い手4戸の耕作地の集約化と、機構集積協力の活用方法について議論を重ねた。また、関係機関とも連携して地権者説明会や担い手農家の検討会を重ねてきた。会合には地元委員も積極的に参画した。

3 活動の成果

○上野間地区において、担い手の耕作地の入れ替えが合意され、農地の集約化とともに農地中間管理事業が実施された。機構集積協力は17haが対象となり、用水路の補修や給水施設の補修など利用上必要な施設の維持管理に活用することが合意された。

○上野間地区での取組は他地区から関心が高まっており、「目標地図」作成の先行モデルともなった。

